

人材開発支援助成金（人への投資促進コース） 個人訓練計画及び要件確認書 （成長分野等人材訓練・自発的職業能力開発訓練）

※本様式は、成長分野等人材訓練と、自発的職業能力開発訓練（海外の大学院で訓練を行う場合に限る）の場合に必要なものです。

1. 事業所の名称	
2. 訓練コースの名称	
3. 受講者氏名	

※4～6欄は、成長分野等人材訓練のみ記載してください。自発的職業能力開発訓練の場合は、第2面のみ記載してください。

4. 3欄の受講者に大学院で訓練実施する目的

--

5. 訓練を実施したことに対する人事上の取組

（※訓練を実施したことに対する人事評価や訓練実施後の処遇改善の内容、配置職務等について記載してください。）

--

6. 受講者に求める今後の役割

（※大学院で学ぶ内容を踏まえて、今後受講者に求める職務上の役割を記載してください。）

--

※欄が不足する場合には、継紙を作成し、本紙に添付してください。

※ **海外の大学院で訓練を実施する場合は、必ず第2面も記載してください。**

（1）海外の大学院で訓練を実施する場合は、3欄の受講者が以下の内容に該当するかチェックをしてください。

※ 以下の内容にすべて該当することが要件となっているため、チェックが無い場合は受給できません。

※ 以下の内容に該当することについて、確認できる書類を求める場合があります。

日本の大学等に卒業し、学士以上の学位を取得した者又は海外の高等教育機関において、日本の学士以上に相当する学位を取得した者

入学先大学で主たる使用言語の能力が、一定水準以上である者 試験名 _____
※ 英語の場合：TOEFL iBT 100点又はIELTS 7.0 以上の水準を満たす者 点数 _____
英語以外の場合：ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）C1レベル以上である者

大学学部以降の成績について、総在籍期間における累積GPA（Grade Point Avwrage）が3.00（最高値を4.00とした場合）以上 点数 _____
※ 直近の在籍課程の成績がGPAに対応していない場合、次の表の方法でGPAを算出してください。

Raw Score	Letter Grade	合否	Grade Point(GP)
90-100	S	秀	4.0
80-89	A	優	3.0
70-79	B	良	2.0
60-69	C	可	1.0
0-59	F	不合格	0.0

(計算式)
$$\frac{(\text{「GP4.0の単位数」} \times 4) + (\text{「GP3.0の単位数」} \times 3) + (\text{「GP2.0の単位数」} \times 2) + (\text{「GP1.0の単位数」} \times 1) + (\text{GP0.0の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

（2）海外の大学院で取得予定の学位について、該当するものにチェックをしてください。

※ 以下のいずれかに該当することが要件となっているため、チェックが無い場合は受給できません。

デジタル技術を活用したビジネスモデルの変革に関連する分野（情報科学・情報工学及びその関連分野）

クリーンエネルギー、バイオ、宇宙等の先端技術やイノベーションに関わる分野（理工学）

経営に関する分野（「14 人材開発支援助成金（6）人への投資促進コース支給要領」の別紙に定めるもの）
(大学名： _____)

上記の内容に誤りがないことを証明します。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

申請事業主の証明

代表者役職名 _____

氏名 _____